

第17回琉球大学医学部医学科同窓会通常総会のお知らせ

琉球大学医学部医学科同窓会会長 増田昌人

麦秋の候、同窓会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

我が母校では本年三月に23期生を送り出し、卒業生総数が2,232名となりました。正会員が沖縄県内の医師に占める割合は四割を超え、特に県内の女性医師に占める割合は五割を越えました。離島医療や産婦人科医不足の問題等に関して沖縄県から意見を聞かれるなど、その重要性が年々高まっていることはご存知の通りです。沖縄県等地方自治体の審議会の委員や、医師会の役員、委員を務める正会員も年々増加しています。

さて、今年も同窓会通常総会の開催時期となりました。今年は2年間の任期満了に伴う役員の改選の年です。また、総会の日と同時に始まる第61回西日本医科学生総合体育大会の主管校としての準備状況やそのほかの重要案件の審議や報告があります。会員の皆様のご出席をよろしくお願ひします。

総会終了後は、昨年から新企画として、講演会を始めました。今年は卒業生で大学教授となった二人に講演をお願いしました（詳細は次ページ）。

その後に、懇親会を予定しています。同窓会の場合は、旧交を温めるだけでなく、情報交換の場としても大きな意味のある場となることと思います。

同窓会会員同士の親睦を深め、我が母校である琉球大学医学部医学科をますます盛り立てるため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成21年8月1日（土）午後5時から

場所：ラグナガーデンホテル（宜野湾市真志喜4-1-1 電話098-897-2121）

17：00～18：00 総会（高砂の間）

18：00～19：30 講演会（羽衣の間）

講演1「スーパーレジデントのつくりかた」

徳田 安春さん（筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系 教授）

講演2「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム

—ベトナムにおける長崎大学感染症研究プロジェクト—について」

山城 哲さん（長崎大学熱帯医学研究所病原体解析部門 教授）

19：30～22：00 懇親会（明海の間）（会費5千円）

追伸

※多くの会員の皆様が都合をつけやすいよう、総会は毎年8月の第1土曜日に行っております。

※お手数ですが、出欠の有無を会報誌と同封のハガキにて7月27日までにご返信ください。

『同窓会主催 講演会』のご案内

琉球大学医学部医学科同窓会会長 増田昌人

昨年は、新企画として『新医学部長と新病院長のご講演とシンポジウム』を行い、会員からの好評を得ました。そこで、今年は卒業生で他の大学の教授となった二人に講演をお願いしました。

山城哲さんは昭和63年に2期生として卒業、その後細菌学の基礎的研究を行い、業績を上げると同時に、途上国における下痢症の分子疫学的研究も行き、JICAのドミニカ共和国消化器疾患プロジェクトおよびラオス国公衆衛生プロジェクトに参加。両国の医療の向上に貢献しました。平成17年からは、長崎大学教授として、ベトナムにおける感染症研究拠点の立ち上げを行っています。「南に開かれた国際性豊かな医学部」として東南アジアを主とする諸外国との国際交流、保健医療協力を寄与するという母校医学部の理念を最も体現している卒業生の一人ではないかと思えます。

徳田安春さんは、山城さんと同様に昭和63年に2期生として卒業、その後県立中部病院で4年間の研修ののち、米国ダートマス大学医学部ヒッチコック医療センターで研鑽を積み、その後は県立中部病院内科副部長として後進の教育に当たっていました。平成18年からは聖路加国際病院に移り、今年4月からは、筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系教授に就任されています。研修医教育や総合内科医の育成について、日本を代表する施設である沖縄県立中部病院で学び、また自身が臨床研修指導医として、総合内科医や医学教育の世界では、日本を代表する医師の一人となっています。

二人とも沖縄県の琉球大学医学部で学んだということ、自身のキャリア形成に生かし、さらに沖縄にとどまることなく、日本や世界に貢献する活躍をしています。同じ2期生の私にとって、お二人を紹介できることは嬉しいことです。同窓会の会員の皆さんにとっても、有意義な講演会になることを確信しています。皆さん、是非ご参加ください。

<山城 哲さん略歴>

昭和63年 卒業（2期生）
同 年 琉球大学大学院博士課程入学、口腔内常在細菌が引き起こす肺炎についての研究
平成 4年 博士課程修了、医学博士
同 年 琉球大学医学部助手（大学付属地域医療研究センター）（～平成12年）、コレラ菌の定着因子の研究、途上国における下痢症の分子疫学的研究
平成 5年 ドミニカ共和国消化器疾患プロジェクト（JICA）（～平成6年）
平成 8年 ラオス国公衆衛生プロジェクト（JICA）（～平成9年）
平成10年 米国NIHに留学（～平成12年）、デング熱ワクチン開発研究、ファージディスプレイ法を用いたヒト型単クローン性抗体の研究（デング熱に対し中和活性をもつチンパンジー抗体の分離）
平成12年 大分医科大学微生物学講座助教授、ファージディスプレイ法の手法を用いたヒト単クローン性有用抗体の分離に関する研究
平成17年 12月 長崎大学国際連携研究戦略本部、同熱帯医学研究所病原体解析部門教授、新興・再興感染症研究拠点形成プログラム、ファージディスプレイ法を用いたヒト型単クローン性抗体の研究、途上国における下痢症の分子疫学的研究、家禽における鳥インフルエンザ疫学研究

<徳田 安春さん略歴>

昭和63年 卒業（2期生）
同 年 沖縄県立中部病院内科研修医
平成 4年 沖縄県立八重山病院内科医師
平成 5年 ECFMG (Educational Commission for Foreign Medical Graduates) 認定
平成 6年 米国ダートマス大学医学部ヒッチコック医療センター・クリニカル・フェロー
平成 8年 沖縄県立中部病院内科医長・臨床研修指導医
平成15年 沖縄県立中部病院内科副部長・臨床研修委員会副委員長
平成16年 Fellow American College of Physician (FACP) 認定、米国ハーバード大学公衆衛生大学院 MPHプログラム（臨床疫学）入学
平成17年 同上修了、Master of Public Health (MPH)（公衆衛生修士号）取得
平成18年 医学博士、聖路加国際病院一般内科副医長、聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター副センター長
平成20年 聖路加国際病院一般内科医長
平成21年 4月 筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系教授、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター（水戸協同病院内）